**第８６回観察会　2010年5月26日(水) 13:30～15:30　曇り**

**テーマ『春の虫たち』**

**☆ガイドレポート**

植物園を考える会ではこれまで、昆虫に関する話題を多く扱っている。樹液昆虫の研究者の吉本治一郎氏、テントウムシをここで研究されていた農学部森林生態学研究室の大澤直哉氏による観察会のほか、筆者も、越冬昆虫を主に、数回話題提供させて頂いた。

今回の観察会では、これまであつかってこなかった、葉食性昆虫を扱いたく、新葉を目一杯展葉させるこの時期にその葉を食べる虫たち、とくにハムシの紹介をさせていただいた。

生憎の天気で、飛び回るハムシを観察できないのではないか、と危惧をしたが、そこは市街地にありながらも、非常に鬱蒼とした林部と乾燥した畑部があり多様な生息場所を虫たちに提供している京大植物園。意外な種、そして私でも観察したことのない種が、会中にも多数観察された。いくつか列挙した後に、総括しようと思う。

まず、非常に目に付いたのがバラルリツツハムシ。「ツツハムシ」という名称は、円筒形に近いその体型から言われている。バラ科の植物を幼虫／成虫の両ステージで食べる葉食性の昆虫である。よく飛び回っており、必ずしもバラなどの餌植物上でみられるわけではなく、ドクダミやアザミ上でもみられた。後日確認したところ、ノイバラに食痕がみられた。

畑部の端にはえているヤナギでは、ヤナギルリハムシという、濃い藍色の強い金属光沢をもつハムシがみられた。残念ながらほとんど紹介できなかったが、ハムシにしては珍しく年に何度も世代を繰り返しているので、見ていない方は、また次の観察会ででもヤナギの葉っぱの上を探してもらいたいと思う。

タデ科の植物の葉を食べていた、ヒメカメノコハムシ。カメノコハムシ亜科といって、「ジンガサハムシ」という種を含むグループに属する。一見虫なのかなんなのか分からない、と参加者からは感嘆の声があがった。確かに、少しいかつい鎧風の外骨格をもつ、特異な外見の甲虫である。

他にも、クビボソハムシの一種や、トビハムシの一種も目撃されたが、採集できずに種名が確定できなかった。

園内では見られなかったが、ケヤキハムシ・クルミハムシがこの時期あたりに京大北部校内ではよくみられる。それぞれ、構内のケヤキ・シナサワグルミを餌植物とするハムシである。

また、ハムシ以外も紹介すると、会の終盤近く園内を奧までいったところで、木に生えたキノコ上で赤紅色の甲虫がびっしり！参加者が発見してくれた。アカハバビロオオキノコムシという虫で、キノコを専食するグループのオオキノコムシ科に属する。今回の観察会でももっとも目を引いた、同時に虫嫌いにひかれた場面であったことであろう。

そして、これは後日確認にいったときに目に入ったのだが、園内奧の通路沿いのカラムシで、ラミーカミキリが見られた。非常に鮮やかなカミキリで、本種は成虫がカラムシの葉をよく食べる。高野川上流などではよく見られるが、京大植物園内で目撃したのは初めてであった。

その他、ヤブジラミの種子を吸っていたハナダカカメムシ、そろそろ産卵の時期だろうか。クサギカメムシ、コバネナガカメムシ、ヒゲナガカメムシという筆者になじみ深いカメムシたちの成虫も目に入った。

以上のように、たった１時間弱、探索時間で言えば３０分もないであろう時間に、ずいぶんとたくさんの虫に出会えるものである。もちろん、岩倉の北端などにいけば、同じくらい昆虫がとれるところはある。しかし、この市街地でこの葉食性昆虫の多様性というのは、なかなかお目にかかれない場所であるだろう。それは、ひとえに植物相が草本、木本とも豊かであるからである。また、昆虫というのは森林部の奥深くというよりは、植物が外と接する境界部で種数・個体数とも多く見られる場合が多い。植物園で多くの昆虫がみられることとして、道と藪、開放地と森林、池と陸という境界がいい状態で残されているという側面もあるのかもしれない。

また、植物園のあの大木たちの上では、今回目に付いていない植食性昆虫がさらにいるはずである。樹冠部はじめ葉が一番茂っているところでの植食性昆虫相も、非常に気になるところである。

また、蛇足ではあるが、植物園観察会の数日後、奧のブナ科エリア付近の地表で探索を行っていると、ヒメコバネナガカメムシという、珍しいカメムシの姿がみられた。状況からして、おそらくこの場所で繁殖していると考えられる。ケヤキの樹皮上で越冬しているのは（その筋では）有名な話で、筆者も観察したことがあったが、活動期の姿をみたのは初めてであった。このような珍しいカメムシの生息場所を発見させてくれたこの場所に、あらためて感謝の念を表して、レポートの結びとしたい。

案内人：嘉田修平さん（京都大学農学研究科昆虫生態学）

**☆参加者の感想**

* 以前から参加したかったのですが、やっと参加できました。これだけ都市部にこれだけの゛森″が残っているのは感動です！！子供たちの為にいつまでも残したいものです。ありがとうございました。
（初めての参加、３０～６０才、男性、京都市外のかた）
* 今回も様々な発見があってよかった。植物園の奥まで初めて入ってみて、森の中にいるようで気持ちよかった。
（参加～１０回、３０～６０才、女性、京都市内のかた）
* 身近な昆虫の生態が分って楽しかったです。
（参加―５回、３０～６０才、京都市外のかた）
* 昆虫をさがすのもおもしろいですねー。時間が足りないので、また行って下さい。よろしくお願いします。
（参加～１０回、３０～６０才、女性、京大近辺のかた）
* ゛ハムシ″の世界。葉っぱをクルクル巻いて子供の寝床を作るなんてすごいことをしている虫。知ってしまえば、又、歩く楽しみが増えた。カメムシはいじめなければ良いのだ。
（参加１０回以上、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* カメムシはくさいのできらいですけど、同類の虫たちの生態は興味深いです。ルーペでみると可愛いです。
(参加?５回、６０才以上、女性、京大近辺のかた)
* 虫の世界はとても面白うございました。この森で虫は幸せにくらしてますね。
（参加１０回以上、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* よく見る虫くいの葉とハムシに興味がわきました。ありがとうございました。
（参加１０回以上、３０～６０才、女性、京都市内のかた）
* 初の植物園、大変楽しく空気がよく、又参加したいです。
（無記入のかた）